

こんなギモン、
ありませんか？

Q.1

学習者用
デジタル教科書を
どう活用すれば
いいの？

Q.4

「指導と評価の
一体化」を
どう実現したら
いいの？

Q.2

言語活動を
充実させる
には？

Q.3

小中連携って、
どうやったら
いいの？

Q.5

「文字の読み書き」
をどのように
指導すれば
いいの？

新しい教科書が
解決します！

そのギモン、 令和6年度版 小学校英語教科書 『Here We Go!』 が解決します!



Q.1 学習者用デジタル教科書を どう活用すればいいの?

A.1 まず、学習者用デジタル教科書は、使用すること自体が目的ではないことを忘れないようにしましょう。これまでの紙媒体の教科書と同じように、子どもたちの学びと成長を支えるものであることは変わりありません。『Here We Go!』の学習者用デジタル教科書の利点は、チャンツやリスニングをはじめとする教科書の音声、アニメーションや動画などの豊富なコンテンツにアクセスできることです。子どもたちは、いつでもどこでも自分のペースでチャンツを聞いたり、何度もStoryを視聴したりすることができます。子どもたちが教室外で英語に触れる機会を増やしてあげることから始めましょう。



かが たつや
加賀田哲也
大阪教育大学教授・
小学校英語教科書
『Here We Go!』
編集代表者

Q.2 言語活動を充実させるには?

A.2 『Here We Go!』は、子どもたちの「知りたい!」「伝えたい!」という気持ちをいちばん大切にしています。子どもたちが自分の本当の考えや気持ちを伝え合うことができるように、言語活動を通して語句や表現を学ぶことが大切です。語句や表現をそらんじるために行うものではない、ということに注意しましょう。目的や場面、状況に合わせて思考力・判断力・表現力を活用する、ということは「考えて工夫する」ということに他なりません。そのためには、それまでに学んだことを生かすことが欠かせないでしょう。何度も塗り重ねて完成させる漆工芸の「漆塗り」をイメージして、既習表現を持ち出し、実際に使ってみる、ということを何度も何度も繰り返しましょう。



ひがし ひとみ
東 仁美
聖学院大学教授・
小学校英語教科書
『Here We Go!』
編集委員

Q.3 小中連携って、どうやったらいいの?

A.3 これまでと同じように、小学校では「聞くこと」「話すこと」を中心に、「読むこと」「書くこと」へも段階的に慣れ親しんでいくようにしましょう。

『Here We Go!』の学習者用デジタル教科書を使うと、子どもたちは手軽に、音声やアニメーションなどの動画にアクセスすることができます。Storyには子どもたちが知らない言葉が出てきますが、視覚情報の助けを得ながら聞くことで理解することができます。わからないことがあっても気にせず、曖昧さに耐える姿勢を育てましょう。こうした「量に負けない子ども」を中学校へ送り出してやること、これこそが小中連携の要となるのです。



おお た ひろし
太田 洋
東京家政大学教授・
小学校英語教科書
『Here We Go!』
編集代表者

Q.4 「指導と評価の一体化」をどう実現したらいいの?

A.4 「評価のための評価」ではなく、「指導を充実させるための評価」だということを押さえておきましょう。目の前にいる子どもの現在の姿を見取り、その子どもがどのような足場かけを必要としているかを見極めるこ

とが大切です。新しい『Here We Go!』では、各Unitや教材に、重点的に指導・評価することを推奨する領域を示してあります。見取る領域を絞っているので、指導計画が立てやすくなります。

Q.5 「文字の読み書き」をどのように指導すればいいの?

A.5 「読むこと」「書くこと」を決してあせらないことです。漢字ドリルの感覚で、ページいっぱいに単語を書かせることは避けてほしいです。子どもたちは中学年でアルファベットの形には触れてきていますが、書くことには慣れていません。5年1学期は、じっくり

と時間をかけて、アルファベットに向き合わせましょう。『Here We Go!』のAlphabet Timeや各UnitのLet's write and read.などの活動は、段階的に読み書きの力をつけるための緩やかな設計となっているので、安心して読み書きに慣れ親しんでいくことができます。

次のページより、新版教科書の**特色・構成**をご紹介します。➡